

## 自然観察サークル 5月定例会ブログ



5月19日(日)「野の花めぐり in 飛鳥」明日香村健康福祉センターにて

5月の定例会は、歴史公園館のイベント「野の花めぐり in 飛鳥」の下見を兼ねて野の花めぐりと同じコースをめぐり観察しました。

コースは飛鳥歴史公園館から上平田をへて明日香村健康福祉センターで昼食休憩をして歴史公園館に帰ってくる右図の赤いラインのコースです。

のどかな里山の景色を楽しみながら、野の花を観察して回りました。

尚、5月19日当日のイベントには11名の方が参加して雨天でしたが野の花めぐりを実施しました。



観察した植物



カキツバタ(アヤメ科)  
花びらに白い線の模様

ハナショウブ(アヤメ科)  
花びらに黄色い模様

アヤメ(アヤメ科)花びらに網目の模様有

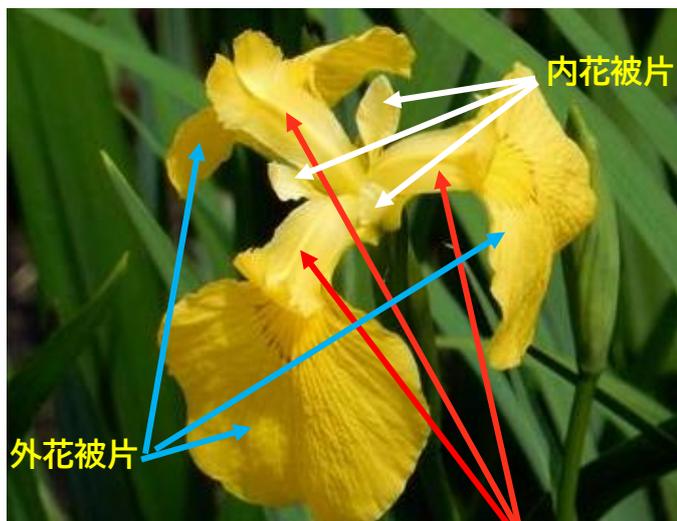
アヤメとカキツバタとハナショウブ。よく似た花なので見分けにくいとよく言われます。花の違いをまとめてみました。

花の咲く順は、アヤメ(5月上旬)→カキツバタ(5月中旬)→ハナショウブ(5月中旬から6月下旬)です。アヤメが一番小ぶりで、比較的乾燥したところに生えています。

端午の節句にしょうぶ湯に入ると体に良いと言われていいます。そのショウブはハナショウブではなく右の写真のような花をつけるショウブ目ショウブ科(最近の分類法による。以前はサトイモ科に分類)の多年草です。



ショウブの花(ショウブ目ショウブ科)



キショウブ(アヤメ科外来種)雌しべの3分裂した花柱 雌しべの花柱の下に小さな雄しべ  
{キショウブの花の作り 外花被片:3 ・ 内花被片:3 ・ 雄しべ:3 ・ 雌しべ:1}



カンサイタンポポ(キク科)  
外総苞片が反り返らない



セイヨウタンポポ(キク科)  
外総苞片が反り返る



カズノコグサ(イネ科)



カラスムギ(イネ科)



イヌムギ(イネ科)



ネズミムギ(イネ科)



コバンソウ(イネ科)



ノアザミ(キク科)



スイカズラ(スイカズラ科)



シロツメグサ(マメ科)



ノヂシャ(スイカズラ科)



コマツヨイグサ(アカバナ科)



キジムシロ(バラ科)



ウマノアシガタ(キンポウゲ科)



ヒメブタナ(キク科)

爽やかな一日、野の花めぐりのコースも決めることができ、観察する植物も確認できました。当日は雨模様でしたが、「野の花めぐり」が実施されました。雨で観察が制限されましたが明日香村福祉センターで野の花めぐりの途中で採集してきた植物をみんなで一緒に詳しく観察しました。雨は困りますがこんな観察の仕方説明が良く分かって良いなと思いました。来年は晴れますように。